

令和8年度当初予算のポイント・主要事業

1 予算調製にあたっての基本的な考え方

環境生活部では、次の5つの方針を柱として当初予算調製を行いました。

- 性暴力の根絶をめざす施策を推進するとともに、県民の皆さんとの連携による交通事故の防止、消費生活の安全確保、地域防犯力の向上、犯罪被害者等支援の推進等に取り組み、くらしの安全・安心の実感を高めます。
- 県民一人ひとりが互いの人権を尊重するとともに、性別や国籍等にかかわらず、誰もが希望を持って挑戦、参画・活躍できるダイバーシティ社会の実現をめざして取り組みます。
- 県民一人ひとりが自主性と創造性を發揮し、郷土への誇りと愛着を育みながら、生きがいと心の豊かさを実感できるよう、文化にふれ親しむ環境やさまざまな学習機会の充実を図ります。
- 私立学校における個性豊かで多様な教育の充実や生徒が安心して学べる環境づくりを支援するとともに、保護者等の経済的負担の軽減を図ります。
- 地球温暖化対策（緩和と適応）、大気・水環境の保全、廃棄物処理における安全・安心を前提とした循環経済への移行を通じて、環境への負荷が少ない持続可能な社会をめざします。

これらの方針をふまえ、令和8年度当初予算においては、以下の7項目について重点的に取り組みます。

（1）誰もが安全・安心に暮らせるまちづくり

性暴力が根絶された三重をめざすため、「三重県性暴力の根絶をめざす条例」に基づく推進計画の策定及び県民の気運醸成の取組を進めるとともに、「みえ性暴力被害者支援センター よりこ」を通じた相談・支援を充実させます。また、県民の皆さんとの連携により、交通事故の防止や飲酒運転の根絶、消費生活の安全確保、災害ボランティア受入体制の強化等に取り組み、くらしの安全・安心を実現します。

（2）人権が尊重され、誰もが参画・活躍できるダイバーシティ社会づくり

人権が尊重される社会を実現するため、さまざまな主体と連携した人権啓発を推進するとともに、部落差別解消条例（仮称）制定検討や人権問題に関する県民意識調査等を実施します。

ジェンダーギャップの背景にあるアンコンシャス・バイアスを解消し、誰もが家庭でも仕事でも活躍できる環境づくりを進めます。また、日本人住民と外国人住民が共に安全、安心に暮らすことができる社会を実現するため、外国人住民が日本語を学べる環境の整備や相談体制の充実等に取り組みます。

(3) 文化と生涯学習の振興

「三重県文化振興計画」に基づき、着実に施策を推進するとともに、次期計画を策定します。県立文化施設では、子どもたちが文化芸術にふれ親しむ機会の充実を図るとともに、三重県誕生 150 周年を好機と捉え、子どもから大人まで楽しめる企画展等を開催します。また、史跡斎宮跡の実態解明と魅力発信を進めます。

(4) 私立学校の教育環境の充実

家庭の経済状況にかかわらず、自らの希望に応じた教育を受けることのできる環境を整備するため、令和 8 年度から実施予定の「いわゆる高校無償化」に対応するとともに、児童生徒がより安全・安心に学べる環境づくりを進めるため、私立学校におけるいじめ防止対策や熱中症対策への支援を行います。

(5) 2050 年ネット・ゼロの実現

2050 年ネット・ゼロの実現をめざし、「みえデコ活」の推進、脱炭素経営に係る支援及びペロブスカイト太陽電池や P P A を活用した県有施設の脱炭素化等のさまざまな緩和の取組を進めるとともに、熱中症対策等の気候変動の適応に取り組みます。

また、三重県誕生 150 周年をふまえた啓発イベントの実施など環境教育・環境学習を推進するとともに、太陽光発電施設の設置が環境に配慮して行われるよう三重県環境影響評価条例の規模要件の見直しを進めます。

(6) 持続可能な循環型社会の構築

廃棄物処理における安全・安心を前提とし、持続可能な廃棄物処理体制を確保するため、引き続き、南海トラフ地震に備えた災害廃棄物処理体制の強化、人口減少など将来の社会情勢をふまえたごみ処理広域化・集約化の調査・検討に取り組みます。また、循環経済への移行により、プラスチック資源循環の高度化など地域課題の解決に資する循環資源の利用を促進します。

(7) 「きれいで豊かな海」の実現と良好な生活環境の保全

水質の「きれいさ」に加え、生物生産性や生物多様性にも配慮した「きれいで豊かな海」の実現をめざし、さまざまな主体と連携し、総合的な施策を推進するとともに、伊勢湾流域圏で連携し、海洋ごみの発生抑制に取り組みます。

また、良好な生活環境の保全を図るための取組を継続します。

2 主な重点項目

(1) 誰もが安全・安心に暮らせるまちづくり

① (一部新) 性暴力が根絶された三重づくり推進事業

予算額 13, 371千円

[くらし・交通安全課 (224-2664)]

「三重県性暴力の根絶をめざす条例」の認知度の向上を図り、性暴力のない三重県の実現に向けた気運を醸成するため、イベントの開催、教職員向けハンドブックの作成、出前講座の実施など、啓発に取り組みます。また、条例に基づく施策を総合的かつ効果的に推進するため、推進計画を策定します。

② (一部新) 性犯罪・性暴力被害者支援事業

予算額 37, 397千円

[くらし・交通安全課 (224-2664)]

「みえ性暴力被害者支援センター よりこ」の相談体制の強化を図るとともに、引き続き電話・SNS相談、付き添い支援等に取り組み、関係機関等と連携しながら被害者の心身の負担軽減と早期回復を図ります。また、外国人向けの周知を行うとともに、「性暴力対応看護師（SANE）」の育成を図ります。

③ (一部新) 災害ボランティア支援等事業

予算額 12, 557千円

[ダイバーシティ社会推進課 (222-5981)]

みえ災害ボランティア支援センター（MVC）の実践力強化に向け、県内関係団体や全国域の災害中間支援組織と連携した県域の情報共有会議の模擬訓練を実施するとともに、市町における災害ボランティア受入れ体制の強化に向け、複数の市町での地域間連携を促すための勉強会やワークショップを開催します。

④ (一部新) 交通安全運動推進事業

予算額 8, 947千円

[くらし・交通安全課 (224-2410)]

関係機関・団体と連携して、四季の交通安全運動等における年間を通じた交通安全啓発活動（交通安全イベントの開催、ラジオによる広報等）を展開し、交通事故防止の徹底に向けた取組を推進します。「三重県自転車安全利用条例（仮称）」の制定に向け、検討を進めるとともに、さまざまな手法により県民に幅広く広報啓発を行うことで自転車や特定小型原動機付自転車の安全利用を促進します。

⑤ (一部新) 飲酒運転0（ゼロ）をめざす推進運動事業

予算額 5, 071千円

[くらし・交通安全課 (224-2410)]

「第4次三重県飲酒運転0（ゼロ）をめざす基本計画」を策定し、飲酒運転の根絶に関する教育および知識の普及・啓発を行うとともに、啓発動画の配信や飲酒運転禁止ステッカーの掲示などの広報啓発活動に取り組みます。また、飲酒運転違反者に対して、アルコール依存症に関する受診義務の通知、勧告、再勧告を行うとともに、飲酒運転とアルコール問題に関する相談窓口を運営し、再発防止に取り組みます。

⑥ 相談対応強化費

予算額 50,260千円
[暮らし・交通安全課 (224-2400)]

県消費生活センターに消費生活相談員を配置するとともに、研修等による資質向上を図ることで、相談に迅速かつ的確に対応します。また、SNSトラブルなど複雑・高度な専門相談に対応できる相談員の育成を図るとともに、市町相談体制の強化に向けた支援を行います。

(2) 人権が尊重され、誰もが参画・活躍できるダイバーシティ社会づくり

① (一部新) 人権施策総合推進事業

予算額 9,578千円
[人権課 (224-2278)]

人権が尊重される社会を実現していくため、「第五次人権が尊重される三重をつくる行動プラン」に基づき、人権施策を進めます。また、「部落差別解消条例（仮称）」の制定及び「差別を解消し、人権が尊重される三重をつくる条例」の改正の検討を行うとともに、人権問題に関する県民意識調査を実施し、条例検討や「第六次人権が尊重される三重をつくる行動プラン」の策定に活用します。

② 人権センター管理運営費

予算額 147,465千円
[人権課 (224-2278)]

人権啓発・研修等の拠点施設である県人権センターの管理運営を行います。また、機能強化を図るため、人権センター常設展示室のリニューアルに向けた設計を行います。

③ (一部新) ジェンダーギャップ解消！！HAPPY☆CYCLE事業

予算額 18,642千円
[ダイバーシティ社会推進課 (224-2225)]

ジェンダーギャップ解消に向け、誰もが家庭でも仕事でも活躍できるよう、企業トップ・リーダー層の意識変革に取り組むとともに、働く女性のキャリア継続やキャリアアップを支援するための講座やロールモデル交流会を開催します。また、若年層とその親世代を対象とした啓発を行い、アンコンシヤス・バイアスの解消を推進します。

④ 男女共同参画連絡調整事業

予算額 3,542千円
[ダイバーシティ社会推進課 (224-2225)]

「第3次三重県男女共同参画基本計画」に基づき、三重県男女共同参画審議会による評価を行いながら、男女共同参画社会の実現に向けた取組を着実に進めます。また、「第3次三重県男女共同参画基本計画」の改定及び実施計画の策定を行います。

⑤ (一部新) 外国人住民に対する情報や学習機会の提供事業

予算額 63,692千円

[ダイバーシティ社会推進課 (222-5974)]

県多言語情報提供ホームページ(MieInfo)の掲載言語を8言語に増やし、行政や生活に係る情報をきめ細かく提供します。また、日本語教育体制の整備を一体的に推進するため、学習者・学習支援者・企業・自治体等からの日本語教育に関する多様な相談への対応、情報提供や関連事業への橋渡しを行う総合窓口として「みえ地域日本語教育支援センター(仮称)」の設置に向け検討を進めます。さらに、日本語教育人材の育成・マッチング等を行うとともに、オンライン・オンデマンドによる日本語学習機会を提供します。

⑥ (一部新) 外国人住民の安全で安心な生活への支援事業

予算額 35,164千円

[ダイバーシティ社会推進課 (222-5974)]

「みえ外国人相談サポートセンター」(MieCo/みえこ)において、社会保険労務士へ専門相談ができる機会を設け、就労外国人からの労働相談に対応できる体制の充実に取り組みます。また、災害時に外国人住民を支援するための外国人防災リーダーの育成、避難所運営訓練等を行います。さらに、外国人コミュニティに県が発信する生活情報等を届けるなど、地域との橋渡し役を担う「外国人地域サポート」を登録・活用する体制を構築します。

⑦ 多文化共生がもつ力の活用事業

予算額 10,081千円

[ダイバーシティ社会推進課 (222-5974)]

多文化共生を計画的かつ総合的に推進するため、県民、有識者、外国人支援団体、経済団体等の意見を聴きながら、「第2次三重県多文化共生推進計画(仮称)」を策定します。また、日本人住民と外国人住民が互いに生活習慣や文化の違いを認め合い、共に地域社会を築いていくよう、啓発イベント等を実施します。

(3) 文化と生涯学習の振興

① (一部新) 文化交流機能強化事業

予算額 7,695千円

[文化振興課 (224-2176)]

本県における文化活動の拠点としての機能を一層強化するため、各県立文化施設で構成する会議を活用し、連携強化を図ります。また、子どもたちが本物の文化芸術に触れる機会をより充実させるため、来館機会の少ない東紀州地域の児童生徒を対象に、県立文化施設での体験コンテンツを組み込んだバスツアーを新たに実施します。

② (一部新) 美術館展示等事業

予算額 85,349千円

[文化振興課 (224-2176)]

本県出身で日本文化の発展に寄与した芸術家を紹介する企画展等を行うとともに、SOMPO美術館等と連携して開催する「アルベール・マルケ展(仮称)」に合わせた子ども向け鑑賞ガイドの配布、誰もが利用しやすい美術館をめざし、引きこもりの当事者等と協働で鑑賞プログラム等の開発を行います。

③ (一部新) 総合博物館展示等事業

予算額 53,554千円

[文化振興課 (224-2176)]

子どもたちが祭りにふれ親しめるイベント等を祭りに関する企画展と合わせて開催するとともに、三重の多種多様で豊かな自然や歴史・文化を紹介する企画展を開催します。

④ 文化会館事業

予算額 101,541千円

[文化振興課 (224-2176)]

オペラ、バレエ、歌舞伎等の多彩で魅力的な文化芸術公演やアウトリーチ活動、文化の担い手や文化活動を支える人材の育成に取り組みます。

⑤ 生涯学習センター費

予算額 10,273千円

[文化振興課 (224-2176)]

多様化・高度化する県民の皆さんの生涯学習ニーズに応えるため、県内の高等教育機関、各種団体等との連携により、三重の歴史・文化など多様で時宜を得たテーマによる学習機会を提供するとともに、地域において生涯学習分野で活動する人々を支援するための研修会や三重県誕生150周年をテーマにしたセミナーを開催します。

⑥ 斎宮歴史博物館展示・普及事業

予算額 15,843千円

[文化振興課 (224-2176)]

平安時代の王朝文学や絵画で表現された斎王や斎宮に関する歴史・文化を紹介する企画展を開催するとともに、講座や地域と連携したイベントを行い、史跡斎宮跡の魅力発信に取り組みます。

⑦ 文化観光推進事業

予算額 228,501千円

[文化振興課 (224-2176)]

斎宮を核とした文化観光を推進し、斎宮跡のにぎわいを創出するため、引き続き発掘体験等を行います。また、斎宮歴史博物館の展示リニューアルに向けた展示製作、博物館と史跡をつなぎ周遊性を高めるための区画道路の復元に向けた史跡斎宮跡整備基本計画(仮称)の策定に取り組みます。

(4) 私立学校の教育環境の充実

① 私立高等学校等就学支援金交付事業 予算額 6, 253, 658千円
[私学課 (224-2161)]

私立学校に通う子どもたちが安心して学べるよう、いわゆる高校無償化に対応した支給対象等の拡充を行ったうえで就学支援金の支給等を行うことにより、保護者等の経済的負担の軽減を図ります。

② 私立高等学校等教育費負担軽減事業 予算額 329, 003千円
[私学課 (224-2161)]

私立学校に通う子どもたちが安心して学べるよう、授業料減免を行った学校法人に対する助成や、国の制度改正に対応した支給対象等の拡充を行ったうえで奨学給付金を支給することにより、保護者等の経済的負担の軽減を図ります。

③ (新) 私立学校いじめ防止対策支援事業 予算額 6, 755千円
[私学課 (224-2161)]

私立学校におけるいじめへの対応強化を支援するために、生徒指導担当教員等を対象に事例等から学ぶ機会を提供するとともに、私立学校からのいじめに係る相談に対応する支援員を新たに配置します。

④ (新) 安全・安心な私立学校教育環境緊急整備事業費補助金 予算額 16, 699千円
[私学課 (224-2161)]

熱中症対策や避難所機能の強化のために、私立学校が体育館等に空調設備を整備する経費への助成を行います。

(5) 2050年ネット・ゼロの実現

① 脱炭素社会推進事業 予算額 379, 110千円
[地球温暖化対策課 (224-2368)]
(388, 860千円 ※R7年度2月補正予算含みベース)

国が進める「デコ活」の県内での展開と定着を図るため、仮想空間上の体験型デジタルコンテンツを活用したイベントを開催するなど、「脱炭素につながる新しい豊かな暮らし方」に関する製品・サービス・情報を効果的・効率的に発信するとともに、自家消費型太陽光発電設備の導入促進など、社会実装につなげる「みえデコ活」を推進します。

② (一部新) 地球温暖化対策普及事業 予算額 25, 599千円
[地球温暖化対策課 (224-2368)]

「地球温暖化対策計画書制度」の対象となる温室効果ガス排出量の多い事業者に対して、脱炭素化に関する情報提供や助言などを行うことにより、自主的な取組を促進します。また、脱炭素経営に係る支援内容を拡充し、取り組む意欲のある企業を対象に、温室効果ガス排出量の算定など各企業の取組段階に応じた支援を実施します。

③ (一部新) 県有施設脱炭素化推進事業 予算額 263,252千円
[地球温暖化対策課 (224-2368)]

将来を担う子どもたちに、体験型展示を導入するなどペロブスカイト太陽電池にふれる機会を創出し、今後の利用拡大に向けた普及啓発を行います。県有施設においては、初期投資が不要なPPAを活用したモデル事業を引き続き実施し全庁的な横展開を図るとともに、ペロブスカイト太陽電池の導入に向けた調査・設計を行います。また、ソーラーカーポート及び電気自動車を整備し、太陽光発電の電力を活用するゼロカーボンドライブを推進します。

④ 気候変動適応事業 予算額 8,311千円
[地球温暖化対策課 (224-2368)]

県民の皆さん、事業者、市町の気候変動適応に関する理解を深めるため、セミナーの開催等による普及啓発を行うとともに、三重県気候変動適応センターと連携し、地球温暖化による本県の気候変動やその影響に関する情報を発信します。また、関係部局や市町と連携し、熱中症対策を進めます。

⑤ (一部新) 環境学習情報センター運営費 予算額 80,185千円
[地球温暖化対策課 (224-2368)]

環境教育・環境学習を推進するため、県環境学習情報センターを拠点として、環境保全に関する講座やイベントの開催、指導者の育成、情報提供等を行います。加えて、環境問題への気づきを引き出し環境保全の具体的な行動を促進するため、最新の情報を反映した展示への更新や、デジタルコンテンツ等を活用した疑似体験ができる設備の新設を進めます。また、三重県誕生150周年と併せて、子どもたちが楽しながら環境について学べる啓発イベントを開催します。

⑥ (一部新) 環境影響・公害審査事業 予算額 8,430千円
[地球温暖化対策課 (224-2368)]

環境に著しい影響を及ぼすおそれのある事業等について、事業者において適切な環境配慮が行われるよう、環境影響評価の取組を促進します。なお、太陽光発電施設の設置に関して、三重県環境影響評価条例に基づく対象事業の規模要件の見直しを進めていきます。

(6) 持続可能な循環型社会の構築

① (一部新) 災害廃棄物適正処理促進事業 予算額 34,566千円
[資源循環推進課 (224-2385)]

災害時に発生する廃棄物の迅速な処理に向け、現場対応力の向上及び広域処理応援体制の強化を図るため、南海トラフ地震等を想定した広域的な図上訓練や仮置場の設置や運営に係る実地訓練を実施するなどの人材育成を進めるとともに、仮置場候補地の位置情報のデジタル化によるデータベースの作成を行います。また、南海トラフ地震の新たな被害想定をふまえて、三重県災害廃棄物処理計画の改定に向けた調査を実施します。

② 「ごみゼロ社会」実現推進事業

予算額 370,021千円

[資源循環推進課 (224-2385)]

廃棄物の「3R+R」を促進するため、ごみの発生・排出削減などの行動変容のきっかけとなる映像コンテンツを作成し、SNS等を活用して、ごみの減量や資源循環に関する情報の発信を行います。また、 RDF焼却・発電施設跡地の活用に向けた手続きを進めるとともに、中長期における持続可能な適正処理の確保に向けたごみ処理広域化・集約化の計画策定のための調査と市町等との協議を行います。

③ 地域循環高度化促進事業

予算額 252,050千円

[資源循環推進課 (224-3310)]

循環経済への移行やカーボンニュートラルに貢献する資源循環を促進するため、地域の廃棄物を資源としてとらえ、地域での一層の有効活用と資源循環の高度化や廃棄物処理に係る地球温暖化対策等に取り組む県内事業者に対して、産業廃棄物税を活用し、その経費の一部を補助します。

④ CO₂削減のための高度な技術を活用したリサイクル等促進事業

予算額 23,853千円

[資源循環推進課 (224-3310)]

より高度な再生プラスチックの循環的な利用の実現に向けて、高度なリサイクル技術による製品原材料への適用可能性や事業者間連携の実現可能性を検証するとともに、使用済みプラスチックの効率的な分別・回収から再生プラスチックを使用した製品の製造までの実証事業を行います。また、使用済み太陽光パネルの循環的な利用に係る体制構築に向け、関係事業者との意見交換の場を通じ、高度なリユース・リサイクル事業への新たな参入を促進します。

⑤ (一部新) 不法投棄等の未然防止・早期発見推進事業

予算額 162,676千円

[廃棄物監視・指導課 (224-2388)]

不法投棄等の未然防止や早期発見・早期是正を図るため、通報窓口である「廃棄物110番」について、啓発動画の作成・配信や多様な手段による効果的な広報を行うことで、利用を促進するとともに、監視カメラ等のICTをはじめとする技術の活用を一層進めることにより、幅広く間隙のない監視体制を構築します。

⑥ 環境修復後の保全管理事業

予算額 59,224千円

[廃棄物対策課 (224-2483)]

環境修復を行った4事業について、行政代執行で整備した工作物の点検や水質モニタリング等を実施し、生活環境保全上の支障が生じていないことを確認するとともに、地元自治会等との事業地に関するコミュニケーションを通じて、地域住民の安全・安心の確保に取り組みます。

(7) 「きれいで豊かな海」の実現と良好な生活環境の保全

① (一部新) 「きれいで豊かな海」推進事業 予算額 27,923千円
[大気・水環境課 (224-2382)]

「きれいで豊かな海」の実現に向け、「第9次水質総量削減計画」に基づき、流域下水処理場における栄養塩類管理運転の試行と効果の検証等、農林水産部、県土整備部と連携して取り組むとともに、「三重県『きれいな海』協議会」において、各種施策の進捗管理を行います。また、県の次期水質総量削減計画の策定に向けた検討を進めるとともに、他の下水処理場等への栄養塩類管理運転の横展開に向けた実現可能性調査も併せて進めています。

② (一部新) 海岸漂着物対策推進事業 予算額 84,571千円
[資源循環推進課 (224-3310)]

「三重県海岸漂着物対策推進計画」、「伊勢湾流域圏海洋ごみ対策推進広域計画」に基づき、海岸漂着物の実態把握、回収・処理の取組、発生抑制対策を推進します。また、海洋ごみ問題に関する県民の意識の醸成を図るため、企業と連携して環境学習・野外学習等のイベントを開催し、企業がもつノウハウ等を活かして情報発信の強化を図ります。

③ (一部新) 大気テレメータ維持管理費 予算額 157,152千円
[大気・水環境課 (224-2380)]

大気環境測定局の自動測定機器等の保守及び更新を行い、大気汚染の状況をモニタリングするとともに、濃度上昇の際は予報等の発令を行います。また、排出ガス量が多い工場の常時監視を行います。

④ 河川等公共用水域水質監視費 予算額 30,813千円
[大気・水環境課 (224-2382)]

公共用水域等の継続的な水質監視を行うことにより、県内の河川、海域及び地下水の環境基準の達成状況や推移を把握し、その結果を水質改善のための必要な施策に反映させ、水環境の保全を図ります。

⑤ 処理槽設置促進事業補助金 予算額 116,178千円
[大気・水環境課 (224-3145)]

処理槽設置に補助を行う市町や、公営事業として高度処理処理槽等を設置し維持管理を行う市町に対して助成を行うことにより、生活排水処理施設の整備率向上を図ります。

3 その他の主要事業

政策名、施策名及び事業の内容	担当課・電話番号
<p>「政策名：暮らしの安全」</p> <p>（施策名：(3-1) 犯罪に強いまちづくり）</p> <p>1 安全安心まちづくり事業 601千円 (22, 980千円 ※R7年度2月補正予算含みベース) 【(3-1-1) みんなで進める犯罪防止に向けた取組の推進】 (第2款 総務費 第5項 生活文化費 1 生活対策費) 「安全で安心な三重のまちづくりアクションプログラム（第3弾）」に基づき、県民の皆さんや事業者等さまざまな主体と協働しながら、安全・安心まちづくり地域リーダー養成講座や安全・安心まちづくりフォーラムを開催するなど、犯罪のない安全で安心な三重のまちづくり実現に向けた取組を進めます。また、「安全で安心な三重のまちづくりアクションプログラム（第4弾）」を策定するとともに、引き続き防犯カメラ設置を支援する市町に対して補助を行います。</p>	くらし・交通安全課 (224-2664)
<p>2 犯罪被害者等支援事業 6, 627千円 【(3-1-4) 犯罪被害者等支援の充実】 (第2款 総務費 第5項 生活文化費 1 生活対策費) 「三重県犯罪被害者等支援推進計画（第二期）」に基づき、三重県犯罪被害者等見舞金を給付するなど、犯罪被害者等に寄り添った各種支援施策を推進するとともに、引き続き、関係機関・団体が相互に連携する総合的な支援体制の強化に取り組みます。また、「三重県犯罪被害者等支援推進計画（第三期）」を策定するとともに、犯罪被害者等が二次被害を受けることがないよう、県民の皆さんへの理解促進を図ります。</p>	くらし・交通安全課 (224-2664)
<p>（施策名：(3-2) 交通安全対策の推進）</p> <p>1 交通安全企画調整費 490千円 【(3-2-1) 交通安全意識と交通マナーの向上に向けた教育・啓発の推進】 (第2款 総務費 第5項 生活文化費 2 交通安全対策費) 「第12次三重県交通安全計画」を策定し、市町や関係機関・団体と連携を図りながら交通安全対策を推進します。</p>	くらし・交通安全課 (224-2410)
<p>2 交通弱者の交通事故防止事業 684千円 【(3-2-1) 交通安全意識と交通マナーの向上に向けた教育・啓発の推進】 (第2款 総務費 第5項 生活文化費 2 交通安全対策費) 高齢者や歩行者、自転車利用者の交通弱者等を対象に、「歩行者の守るべきルール」「自転車ヘルメットの着用」などをテーマとした啓発動画による広報に取り組み、交通安全意識のさらなる向上を図ります。</p>	くらし・交通安全課 (224-2410)
<p>3 交通安全研修センター管理運営費 43, 626千円 【(3-2-1) 交通安全意識と交通マナーの向上に向けた教育・啓発の推進】 (第2款 総務費 第5項 生活文化費 2 交通安全対策費) 三重県交通安全研修センターにおいて、交通安全教育機器を活用し、児童から高齢者まで幅広い県民の皆さんを対象にした参加・体験・実践型の交通安全教育を実施するとともに、地域や職域で活動する交通安全教育指導者の養成・資質向上を図ります。</p>	くらし・交通安全課 (224-2410)

政策名、施策名及び事業の内容	担当課・ 電話番号
<p>〈施策名：(3-3) 消費生活の安全確保〉</p> <p>1 (一部新) 消費者啓発事業 19, 410千円 【(3-3-1) 自主的かつ合理的な消費活動への支援】 (第2款 総務費 第5項 生活文化費 7 消費生活事業費) 若年者向けの消費者教育・啓発の強化を図るため、「青少年消費生活講座」を開催します。また、高齢者に寄り添った啓発を強化するため、スマートフォンの普及などデジタル社会の進展に伴い、多様化、複雑化している消費者トラブルの防止に向けた「消費生活出前講座」等を開催します。さらに、エシカル消費の啓発に取り組むとともに、カスタマーハラスメントを防止するため、消費者への教育・啓発を実施します。</p>	くらし・交通 安全課 (224-2400)
<p>2 消費者行政推進事業 31, 023千円 (38, 726千円 ※R7年度2月補正予算含みベース) 【(3-3-1) 自主的かつ合理的な消費活動への支援】 (第2款 総務費 第5項 生活文化費 7 消費生活事業費) 県、市町の相談員等を対象とした研修会の開催や、弁護士等の活用により県内全体の消費生活相談体制の充実を図るとともに、国交付金の活用等により市町における消費者行政の推進を支援します。また、地域における啓発活動の担い手となる「消費者啓発地域リーダー」や学生が消費者教育の担い手となる「学生消費者リーダー」の新規養成等を進めます。</p>	くらし・交通 安全課 (224-2400)
<p>3 事業者指導事業 8, 348千円 【(3-3-2) 消費者被害の救済、適正な取引の確保】 (第2款 総務費 第5項 生活文化費 7 消費生活事業費) 適正な商取引、商品表示等が行われるよう、県消費生活センターに不当商取引指導専門員を配置し、監視・指導を行うとともに、広域的に活動する悪質な事業者に対しては、国や近隣県等の関係機関と連携し、指導を行います。また、事業者面談や事前相談を通じて、適正な商取引や商品等の表示に向けた事業者の自主的な取組を支援します。</p>	くらし・交通 安全課 (224-2400)
<p>《政策名：環境》</p> <p>〈施策名：(4-1) 脱炭素社会の実現〉</p> <p>1 環境行動促進事業 8, 277千円 【(4-1-3) 環境教育・環境学習の推進】 (第4款 衛生費 第6項 環境保全費 1 環境総務費) 三重県地球温暖化防止活動推進センターを拠点とした地球温暖化防止活動推進員による活動を支援します。また、学校や企業と連携した啓発活動、県民の皆さん一人ひとりの環境に配慮した行動変容を促すための取組を通じて、温室効果ガスの排出削減等に取り組みます。</p>	地球温暖化対 策課 (224-2368)

政策名、施策名及び事業の内容	担当課・ 電話番号
<p>〈施策名：(4-2) 循環型社会の構築〉</p> <p>1 産業廃棄物適正処理推進事業 121, 729千円 【(4-2-3) 廃棄物処理の安全・安心の確保】 (第4款 衛生費 第6項 環境保全費 2 廃棄物対策費)</p> <p>産業廃棄物の適正処理を推進し、廃棄物処理に対する県民の皆さんの安全・安心を確保するため、産業廃棄物処理業等に係る許可申請等の厳正な審査を行うなど、法令等に基づく的確な運用を図ります。また、県内の排出事業者及び処理業者を対象に優良産廃処理業者認定制度等に関する研修を実施し、産業廃棄物の適正処理の担い手となる人材の育成に取り組みます。</p>	廃棄物対策課 (224-2483)
<p>2 プラスチック対策等推進事業 26, 828千円 【(4-2-4) 廃棄物政策を通じた社会的課題の解決】 (第4款 衛生費 第6項 環境保全費 2 廃棄物対策費)</p> <p>プラスチックの資源循環を促進するため、事業者の自主的な取組や事業者間の連携拡大に取り組みます。また、SNSアプリを活用したごみ拾い活動の見える化を通じた散乱ごみ対策を進めるほか、プラスチックの資源循環の促進、海洋ごみ、食品ロス等のさまざまな課題の同時解決につながるよう、ナッジ理論を活用した分別回収の促進と取組効果の情報発信により意識向上を図るモデル事業を実施します。</p>	資源循環推進課 (224-3310)
<p>3 食品ロス削減推進事業 29, 095千円 【(4-2-4) 廃棄物政策を通じた社会的課題の解決】 (第4款 衛生費 第6項 環境保全費 2 廃棄物対策費)</p> <p>まだ食べられる食品の活用により生活困窮者等を支援する三重県食品提供システム「みえ～る」の機能強化及び参加団体の拡大に取り組みます。また、食品ロス削減に向けた県民意識の醸成のため、県内でのフードドライブの展開を図るとともに、学校教育で使用できる啓発教材の作成や、市町・食品関連業者等と連携した売れ残りや食べ残し削減の取組を進めます。</p>	資源循環推進課 (224-2385)
<p>4 循環型社会形成施策推進事業 4, 484千円 【(4-2-5) 人材育成とＩＣＴの活用】 (第4款 衛生費 第6項 環境保全費 2 廃棄物対策費)</p> <p>さまざまな主体による持続可能な循環型社会の構築に向けた取組を促進するため、動静脈連携や脱炭素化、DXの推進に関する国や県の動向、事業者の先進事例等について情報共有を図るセミナーを開催します。</p>	資源循環推進課 (224-3310)
<p>〈施策名：(4-4) 生活環境の保全〉</p> <p>1 工場・事業場大気規制費 9, 758千円 【(4-4-1) 大気・水環境等の保全】 (第4款 衛生費 第6項 環境保全費 3 環境指導費)</p> <p>「大気汚染防止法」等の規制対象工場に立入検査を行い、施設の適正な維持管理を指導するとともに、有害大気汚染物質の県内の状況を把握するため、調査等を実施します。</p>	大気・水環境課 (224-2380)

政策名、施策名及び事業の内容	担当課・ 電話番号
<p>2 土砂条例施行費 7, 609千円 【(4-4-1) 大気・水環境等の保全】 (第4款 衛生費 第6項 環境保全費 3 環境指導費) 「三重県土砂等の埋立て等の規制に関する条例」に基づき厳正に審査するとともに、不適切な土砂等の埋め立て等が行われることがないよう必要な指導等を行います。</p>	大気・水環境課 (224-2382)
<p>3 生活排水総合対策指導事業 9, 157千円 【(4-4-2) 生活排水処理施設の整備促進】 (第4款 衛生費 第6項 環境保全費 3 環境指導費) 生活排水の総合的な推進のため、「生活排水処理アクションプログラム(三重県生活排水処理施設整備計画)」に基づき、関係部局が連携し、進行管理を行います。また、人口減少など社会情勢が著しく変化していることから、各市町の整備計画や整備状況をふまえて「生活排水処理アクションプログラム」の見直しを行います。</p>	大気・水環境課 (224-3145)
《政策名：交通・暮らしの基盤》	
〈施策名：(11-4) 水の安定供給と土地の適正な利用〉	
<p>1 水道事業等指導事業 9,062千円 【(11-4-1) 水資源の確保と水の安全・安定供給】 (第4款 衛生費 第6項 環境保全費 3 環境指導費) 県民の皆さんに対し、安心して飲める水が安定的に供給されるよう、水道の施設整備や事業経営および施設の維持管理についての指導監督を行います。また、県内の水道事業が将来にわたり経営環境を維持していくよう、水道広域化シミュレーション結果を共有し、市町とともに具体的な検討を行うなど、水道事業基盤強化の取組を進めます。</p>	大気・水環境課 (224-3145)
<p>2 水道事業会計支出金 996, 324千円 【(11-4-1) 水資源の確保と水の安全・安定供給】 (第4款 衛生費 第6項 環境保全費 3 環境指導費) 北部広域圏広域的水道整備計画に基づく水道広域化施設の整備等に対し、一般会計から水道事業会計に出資・補助を行い、地方公営企業の経営健全化を促進し、その経営基盤の強化を図ります。</p>	大気・水環境課 (224-3145)
《政策名：人権・ダイバーシティ》	
〈施策名：(12-1) 人権が尊重される社会づくり〉	
<p>1 隣保館運営費等補助金 249, 422千円 【(12-1-1) 人権が尊重されるまちづくりと人権啓発の推進】 (第2款 総務費 第5項 生活文化費 4 人権施策推進費) 市町が設置する隣保館において、相談事業、啓発及び広報活動、地域交流等の隣保事業が推進されるよう支援します。</p>	人権課 (224-2278)
<p>2 人権啓発事業 19, 222千円 【(12-1-1) 人権が尊重されるまちづくりと人権啓発の推進】 (第2款 総務費 第5項 生活文化費 4 人権施策推進費) 県民一人ひとりの人権意識の高揚を図るため、講演会の開催やスポーツ組織との連携による啓発等を行います。また、地域の実情に応じた啓発活動を展開することができるよう、市町の取組に対する支援を行います。</p>	人権課 (224-2278)

政策名、施策名及び事業の内容	担当課・ 電話番号
<p>3 (一部新) インターネット人権モニター事業 2, 111千円 【(12-1-3) 人権擁護の推進】 (第2款 総務費 第5項 生活文化費 4 人権施策推進費) インターネット上の差別的な書き込みを早期に発見し、削除要請を行うとともに、情報流通プラットフォーム対処法の規定に基づいた大規模プラットフォーム事業者の対応状況を確認し、調査・分析を行います。また、市町等に対しモニタリング説明会を実施するとともに、差別的な書き込みなどの未然防止に向け、啓発に取り組みます。</p>	人権課 (224-2278)
<p>4 差別解消条例推進事業 1, 946千円 【(12-1-3) 人権擁護の推進】 (第2款 総務費 第5項 生活文化費 4 人権施策推進費) 人権問題を円滑かつ適切に解決するため、引き続き、県人権センターにアドバイザーを配置し、相談員のさらなる資質向上、人材育成を図ります。また、不当な差別に係る紛争解決のため、「三重県差別解消調整委員会」を運営します。</p>	人権課 (224-2278)
〈施策名：(12-2) ダイバーシティと女性活躍の推進〉	
<p>1 男女共同参画センター事業 14, 360千円 【(12-2-1) 男女共同参画の推進】 (第2款 総務費 第5項 生活文化費 1 生活対策費) 県男女共同参画センター「フレンテみえ」において、フォーラムやセミナー等の開催や、機関誌等による情報発信などを通して男女共同参画意識の普及啓発を図ります。また、女性のための総合相談や居場所づくりなどさまざまな悩みを持つ女性の心の負担の軽減に取り組みます。</p>	ダイバーシティ社会推進課 (224-2225)
<p>2 性の多様性を認め合う社会推進事業 6, 894千円 【(12-2-4) ダイバーシティ・性の多様性を認め合う環境づくり】 (第2款 総務費 第5項 生活文化費 1 生活対策費) ダイバーシティや性の多様性に関する理解の促進を図るため、県民の皆さんや企業を対象とした啓発や研修を行います。また、性の多様性に関する相談や交流会の開催、パートナーシップ宣誓制度利用先の拡充に取り組みます。</p>	ダイバーシティ社会推進課 (224-2225)
《政策名：教育》	
〈施策名：(14-5) 誰もが安心して学べる教育の推進〉	
<p>1 私立学校不登校児童生徒支援事業 540千円 【(14-5-1) 不登校の状況にある児童生徒への支援】 (第10款 教育費 第8項 私学振興費 1 私学振興費) 私立学校の不登校児童生徒の学びの機会確保のため、対象フリースクールを利用する経済的事情のある世帯に対して、支援を行います。</p>	私学課 (224-2161)

政策名、施策名及び事業の内容	担当課・ 電話番号
<p>〈施策名：(14-6) 学びを支える教育環境の整備〉</p> <p>1 私立高等学校等振興補助金 5, 162, 011千円 【(14-6-5) 私学教育の振興】 (第10款 教育費 第8項 私学振興費 1 私学振興費) 公教育の一翼を担う私立学校（小学校・中学校・中等教育学校・高等学校）において、建学の精神に基づく個性豊かで多様な教育が推進されるよう経常的経費への助成を行います。</p>	私学課 (224-2161)
<p>《政策名：文化・スポーツ》</p> <p>〈施策名：(16-1) 文化と生涯学習の振興〉</p> <p>1 文化活動連携事業 17, 865千円 【(16-1-1) 文化にふれ親しみ、創造する機会の充実】 (第2款 総務費 第5項 生活文化費 3 文化振興費) 「三重県文化振興計画」に基づき、三重県文化賞の実施や、県内各地域の文化活動等の情報を収集・発信することにより、さまざまな主体の文化活動を促進します。また、文化団体の支援のあり方について引き続き検討を行うとともに、「第2次三重県文化振興計画（仮称）」を策定します。</p>	文化振興課 (224-2176)
<p>2 斎宮跡調査研究事業 18, 631千円 【(16-1-1) 文化にふれ親しみ、創造する機会の充実】 (第2款 総務費 第5項 生活文化費 11 斎宮歴史博物館費) 有識者の意見を聞きながら、奈良時代の斎宮跡の発掘調査を進めるとともに、斎宮跡で出土した重要文化財の修復を行います。</p>	文化振興課 (224-2176)
<p>3 (一部新) 図書館管理運営費 530, 516千円 【(16-1-3) 学びとその成果を生かす場の充実】 (第2款 総務費 第5項 生活文化費 8 総合文化センター費) 図書資料の充実を図るとともに、図書館総合情報システムの更新に取り組みます。また、図書の相互貸借に係る物流ネットワークを適切に運用し、県民の皆さんにより良い図書館サービスを提供します。</p>	文化振興課 (224-2176)
<p>《行政運営》</p> <p>〈行政運営名：(1) 総合計画の推進〉</p> <p>1 みえ県民交流センター指定管理事業 26, 483千円 【(20-1-5) 県民の社会参画の促進】 (第2款 総務費 第5項 生活文化費 1 生活対策費) NPOが、多様化、複雑化する地域の諸課題に対応できるよう、みえ県民交流センターを拠点に情報発信やセミナー等を開催するとともに、社会課題の解決に取り組むNPOやそれを支援する中間支援組織の基盤強化の支援に取り組みます。また、令和9年度からの指定管理者の選定を行います。</p>	ダイバーシティ社会推進課 (222-5981)

誰もが安全・安心に暮らせるまちづくり

くらし・交通安全課：224-2664 (1)(2)、224-2410 (4)(5)、224-2400 (6)
ダイバーシティ社会推進課：222-5981 (3)

性暴力が根絶された三重をめざすため、「三重県性暴力の根絶をめざす条例」に基づく推進計画の策定及び県民の気運醸成の取組を進めるとともに、「みえ性暴力被害者支援センター よりこ」を通じた相談・支援を充実させます。また、県民の皆さんとの連携により、交通事故の防止や飲酒運転の根絶、消費生活の安全確保、災害ボランティア受入体制の強化等に取り組み、くらしの安全・安心を実現します。

くらしの安全・安心

①(一部新) 性暴力が根絶された三重づくり推進事業 [13,371千円]

- 性暴力のない三重県の実現をめざし、イベントの開催、教職員向けハンドブックの作成、出前講座の実施
- 「性暴力の根絶をめざす条例」に基づく
**施策を総合的かつ効果的に推進するため、
推進計画を策定**



②(一部新) 性犯罪・性暴力被害者支援事業 [37,397千円]

- 「みえ性暴力被害者支援センター よりこ」の相談体制の強化を図るとともに、外国人向けの周知を実施
- 医療機関における性暴力被害者に寄り添った支援を充実させるため、「性暴力対応看護師(SANE)」を育成



③(一部新) 災害ボランティア支援等事業 [12,557千円]

- みえ災害ボランティア支援センター(MVSC)の実践力強化に向け、県内関係団体や全国域の災害中間支援組織と円滑に連携できるよう、図上訓練を実施
- 市町の災害ボランティア受入体制の強化に向け、複数の市町での地域間連携を促すためのワークショップ等を開催

交通事故のない社会の実現

④(一部新) 交通安全運動推進事業 [8,947千円]

- 自転車や特定小型原動機付自転車の安全利用を促進するため、「**三重県自転車安全利用条例** (仮称)」の検討を進めるとともに、さまざまな手法により県民に幅広く広報啓発を実施
- ⑤(一部新) 飲酒運転0(ゼロ)をめざす推進運動事業 [5,071千円]**



消費生活の安全確保

⑥相談対応強化費 [50,260千円]

- 県消費生活センターの消費生活相談員の資質向上を図ることで、相談に迅速かつ的確に対応
- SNSトラブルなど複雑・高度な専門相談に対応できる相談員の育成を図るとともに、市町相談体制の強化に向けた支援

人権が尊重され、誰もが参画・活躍できるダイバーシティ社会づくり

人権課：224-2278 (1)(2)
タバコ・アルコール社会推進課：224-2225 (3)(4)
222-5974 (5)(6)(7)

人権が尊重される社会を実現するため、さまざまな主体と連携した人権啓発を推進するとともに、部落差別解消条例（仮称）制定検討や人権問題に関する県民意識調査等を実施します。
ジェンダーギャップの背景にあるアンコンシャス・バイアスを解消し、誰もが家庭でも仕事でも活躍できる環境づくりを進めます。また、日本人住民と外国人住民が共に安全、安心に暮らすことができる社会を実現するため、外国人住民が日本語を学べる環境の整備や相談体制の充実等に取り組みます。

人権が尊重される社会づくり

①（一部新）人権施策総合推進事業 [9,578千円]

- 「部落差別解消条例（仮称）」制定及び「差別を解消し、人権が尊重される三重をつくる条例」改正の検討
- 人権問題に関する三重県民意識調査の実施

②人権センター管理運営費 [147,465千円]

- 県人権センターの機能強化を図るため、常設展示室のリニューアルに向けた設計



多文化共生の推進

⑤（新）みえ地域日本語教育支援センター（仮称）の設置 [49,074千円]

※外国人住民に対する情報や学習機会の提供事業の一部

- 日本語学習に関する多様な相談への対応、情報提供や関連事業の総合窓口として「みえ地域日本語教育支援センター（仮称）」を設置

- 日本語学習支援者の育成・マッチング、オンライン・オンデマンドによる日本語学習機会の提供



⑥（一部新）外国人住民の安全で安心な生活への支援事業 [35,164千円]

- みえ外国人相談サポートセンター（MieCo）において、社会保険労務士への専門相談を追加
- 外国人コミュニティに県が発信する生活情報等を届けるなど、地域との橋渡し役を担う「外国人地域サポートセンター」登録制度を構築

多文化共生
シンボルマーク

⑦多文化共生がもつ力の活用事業 [10,081千円]

- 多文化共生を計画的かつ総合的に推進するため、「第2次三重県多文化共生推進計画（仮称）」を策定

男女共同参画の推進

③（一部新）ジエンダーギャップ解消！ HAPPY☆CYCLE事業 [18,642千円]

- 企業トップ・リーダー層を対象としたワークショップ、好事例の水平展開を実施
- 働く女性向けにキャリアデザイン支援の階層別連続講座（Women's Career Lab）を開催

- 性別にとらわれない多様な進路選択を促進するため、若年層と親世代を対象とした啓発を実施

④男女共同参画連絡調整事業 [3,542千円]

- 男女共同参画を一層推進するため、「第3次三重県男女共同参画基本計画」の改定及び実施計画の策定

文化と生涯学習の振興

文化振興課：224-2176

「三重県文化振興計画」に基づき、着実に施策を推進するとともに、次期計画を策定します。県立文化施設では、子どもたちが文化芸術にふれ親しむ機会の充実を図るとともに、三重県誕生150周年を好機と捉え、子どもから大人まで楽しめる企画展等を開催します。また、史跡斎宮跡の実態解明と魅力発信を進めます。

子どもたちが文化芸術にふれ親しむ機会の充実～県立文化施設の主な企画展等～



楽器体験

①(新)東紀州キッズ文化体験ツアーセンター事業 [4,675千円] ※文化交流機能強化事業の一部

- ・東紀州地域の児童生徒を対象に、美術館、総合博物館、斎宮歴史博物館等での体験コンテンツを組み込んだバスツアーを新たに実施

②(一部新)美術館展示等事業 [85,349千円]

- ・SOMPO美術館等との巡回展『アルベルト・マルケ展』において、子ども用鑑賞ガイド等を作成し、配付
- ・三重県ゆかりの『榎莫山』、『増山雪斎』の展示やひきこもり当事者等と鑑賞プログラムの開発を実施



アドレ・マ・マ・マ・ル・マ・ル (ア・マ・ル) © MuMa Le Havre Charles Masiard

④文化会館事業 [101,541千円]

- ・楽団音楽監督を務める佐渡裕さん指揮の新日本フィルハーモニー交響楽団公演や劇団唐組初の三重公演「鉛の兵隊」等を実施



佐渡裕さん

⑤生涯学習センター費 [10,273千円]

- ・大学院で民俗学を研究する歌手の相川七瀬さんを迎える、学び直すきっかけや研究内容の講演を実施
- ・皇學館大学教授谷口裕信さんによる講演「三重県の誕生と府県のかたち」等を実施



三重交通神都線の路面電車
(中野本一コロクション)

史跡斎宮跡の実態解明と魅力発信

⑥斎宮歴史博物館展示・普及事業 [15,843千円]

- ・『斎王のつとめ』、『王朝文学と斎王』、『大斎院』等、斎宮の魅力を伝える展示を実施
- ・斎宮歴史博物館のリニューアルに向けた展示製作
- ・斎宮と史跡をつなぎ周遊性を高める区画道路の復元に向けた史跡斎宮跡整備基本計画(仮称)の策定
- ・斎宮跡のにぎわいを創出するため、引き続き発掘体験等を実施

※企画展等の名称は仮称

私立学校の教育環境の充実

私学課：224-2161

家庭の経済状況にかかわらず、自らの希望に応じた教育を受けることのできる環境を整備するため、令和8年度から実施予定の「いわゆる高校無償化」に対応するとともに、児童生徒がより安全・安心に学べる環境づくりを進めるため、私立学校におけるいじめ防止対策や熱中症対策への支援を行います。

高校無償化への対応

①私立高等学校等就学支援金交付事業 [6,253,655千円]

- ・自らの希望に応じた教育を受けることができるよう、いわゆる高校無償化に対応し、**就学支援金を拡充する**ことにより、保護者等の経済的負担を軽減

< 主な拡充内容 >

▶ 就学支援金【授業料への支援】

○支給上限額：私立全日制 39.6万円 ⇒ 45.72万円 等

▶ 稽学給付金【授業料以外への支援】

○支援対象：生活保護世帯・住民税非課税世帯（年収約270万円未満）⇒ 中所得世帯（年収約490万円未満）まで



②私立高等学校等教育費負担軽減事業 [329,003千円]

- ・国の制度改正に対応し、**奨学給付金を拡充すること**により、保護者等の経済的負担を軽減

いじめ対策強化

③（新）私立学校いじめ防止対策支援事業 [6,755千円]

- ・私立学校におけるいじめへの対応を支援するため、**生徒指導担当教員等を対象に事例等から学ぶ機会を提供**・私立学校からいじめに係る相談に応する支援員を新たに配置



熱中症対策への支援

④（新）安全・安心な私立学校教育環境緊急整備事業費補助金 [16,699千円]

- ・熱中症対策や避難所機能の強化のために、私立学校が体育館等に**空調設備を整備する経費を助成**



2050年ネット・ゼロの実現

2050年ネット・ゼロの実現をめざし、「みえデコ活」の推進、脱炭素経営に係る支援及びペロブスカイト太陽電池やPPAを活用した県有施設の脱炭素化等のさまざまな緩和の取組を進めるとともに、熱中症対策等の気候変動の適応に取り組みます。

また、三重県誕生150周年をふまえた啓発イベントの実施など環境教育・環境学習を推進するとともに、太陽光発電施設の設置が環境に配慮して行われるよう三重県環境影響評価条例の規模要件の見直しを進めます。

気候変動緩和の取組

①脱炭素社会推進事業 [388,860千円] (2月補正予算含みベース)

- 脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る取組の展開やその定着を図る「みえデコ活」の推進
- 楽しく学習できる仮想空間上の体験型デジタルコンテンツを活用したイベントの開催
- 太陽光発電設備等設置費補助
太陽光発電設備等共同購入
電気自動車の導入補助

みえ デコ活!

②(一部新)地球温暖化対策普及事業 [25,599千円]

- 各企業のニーズに応じた支援を実施するため、脱炭素経営の支援内容を拡充
- STEP.1 知る
脱炭素経営の啓発、相談
- STEP.2 賽る
CO₂のみえる化トライアル
- STEP.3 減らす
削減取組実行支援カリキュラム(スクール形式)
削減取組(金利優遇)を付与



③(一部新)県有施設脱炭素化 推進事業 [263,252千円]

- ペロブスカイト太陽電池の導入に向けた取組（普及啓発、県有施設への導入に向けた調査・設計）
- 初期費用が不要なPPAを活用したモデル事業を引き続き実施し、全庁的な横展開



県総合博物館 (R6導入)

気候変動適応の取組

④気候変動適応事業 [8,311千円]

- 関係部局や市町と連携した熱中症対策の促進
- 気候変動の適応に関する普及啓発、理解を深める環境教育セミナーと連携した情報発信

環境配慮取組・行動

⑤(一部新)環境学習センター運営費 [80,185千円]

- 県環境学習センターを拠点とした環境教育・環境学習の推進、展示のリニューアル
- 三重県誕生150周年をふまえ、子どもたちが楽しみながら学べる啓発イベントの実施



⑥(一部新)環境影響・公害審査事業 [8,430千円]

三重県誕生
150周年

- 事業者において適切な環境配慮が行われるよう、環境影響評価の取組を促進
- 太陽光発電施設の設置に関しては、三重県環境影響評価条例に基づく対象事業の規模要件の見直し



持続可能な循環型社会の構築

資源循環推進課：224-3310 (1)(2)(3)(4) 廃棄物対策課：224-2483 (6)
廃棄物監視・指導課：224-2388 (5)

廃棄物処理における安全・安心を前提とし、持続可能な廃棄物処理体制を確保するため、引き続き、南海トラフ地震に備えた災害廃棄物処理体制の強化、人口減少など将来の社会情勢をふまえたごみ処理広域化・集約化の調査・検討に取り組みます。また、循環経済への移行により、プラスチック資源循環の高度化など地域課題の解決に資する循環資源の利用を促進します。

持続可能な廃棄物処理体制の確保

①(一部新)災害廃棄物適正処理促進事業 [34,566千円]



訓練の実施状況

- ・南海トラフ地震等を想定した広域的な図上訓練・仮置場の設置や運営に係る実地訓練の実施
- ・仮置場候補地の位置情報のデジタル化によるデータベース作成
- ・三重県災害廃棄物処理計画の改定に着手

②一般廃棄物適正処理推進事業 [34,612千円]



先行事例（東紀州環境施設組合）

訓練の実施状況

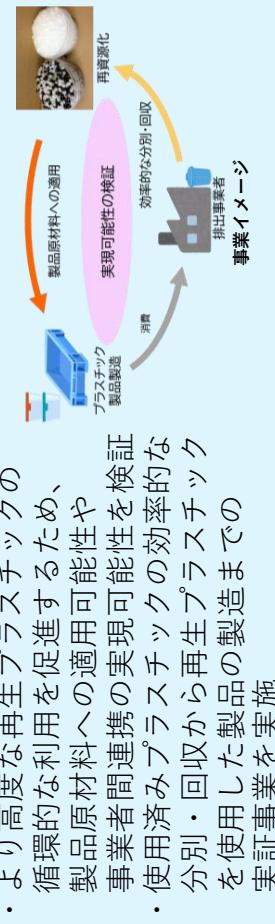
- ・中長期における持続可能な適正処理の確保に向けたごみ処理広域化・集約化の計画策定のための調査と市町等との協議を継続

循環資源の利用促進

③地域循環高度化促進事業 [252,050千円]

- ・産業廃棄物の発生抑制、循環的利用、減量化、地球温暖化対策に資する事業者による設備導入等にに対して、その経費の一部を補助

④CO₂削減のための高度な技術を活用したリサイクル等促進事業 [23,853千円]



安全・安心の確保

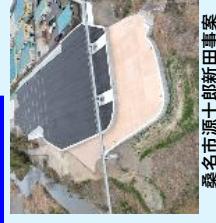
⑤(一部新)不法投棄等の未然防止・早期発見推進事業 [162,676千円]

- ・通報窓口「廃棄物110番」の啓発動画の作成・配信や多様な手段による効果的な広報を実施
- ・監視カメラ等のＩＣＴをはじめとする技術の活用



⑥環境修復後の保全管理事業 [59,224千円]

- ・地域住民の安全・安心を確保するため、行政代執行で整備した工作物の点検や水質モニタリング等を実施



桑名市源十郎新田事業

桑名市五反田事業

桑名市源十郎新田事業

「きれいな豊かな海」の実現と良好な生活環境の保全

水質の「きれいさ」に加え、生物生産性や生物多様性にも配慮した「きれいで豊かな海」の実現をめざし、さまざまな主体と連携し、総合的な施策を推進するとともに、伊勢湾流域圏で連携し、海洋ごみの発生抑制に取り組みます。また、良好な生活環境の保全を図るために、取組を継続します。

「きれいな豊かな海」の実現と「海洋ごみ対策」の推進

①（一部新）「きれいな豊かな海」推進事業 [27,923千円]

- 「第9次水質総量削減計画」に基づき、流域下水処理場における栄養塩類管理運転の試行と効果の検証等、農林水産部、国土整備部と連携して取り組むとともに、「三重県『きれいな豊かな海』協議会」において、各種施策の進捗管理を実施
- 県の次期水質総量削減計画の策定に向けた検討を進めるとともに、他の下水処理場等への栄養塩類管理運転の横展開に向けた実現可能性調査を実施



②（一部新）海岸漂着物対策推進事業 [84,571千円]

- 「三重県海岸漂着物対策推進計画」、「伊勢湾流域圏海洋ごみ対策推進広域計画」に基づき、海岸漂着物の実態把握、回収・処理の取組、発生抑制対策を推進
- 海洋ごみ問題に関する県民の意識の醸成を図るため、企業と連携した情報発信や環境学習・野外学習イベントの開催



イベントにおける普及啓発



三県の連携協力により流域圏での広域的な発生抑制対策を推進

③（一部新）大気テレメータ維持管理費 [157,152千円]

- 大気汚染の状況をモニタリングするとともに、光化学オキシダントやPM2.5の濃度上昇時に予報等を発令

④河川等公共用水域水質監視費 [30,813千円]

- 水環境の保全に向け、県内の河川、海域及び地下水の環境基準の達成状況や推移を把握するため、公共用水域等の継続的な水質監視を実施
- 生活排水処理施設の整備率向上を図るため、浄化槽設置に補助を行う市町や、公営事業として高度処理浄化槽等を設置し維持管理を行う市町に対する助成を実施

生活環境の保全

⑤浄化槽設置促進事業補助金 [116,178千円]